このモデルはベーシックと考えられる評価プロセスとそれに伴う標準的な業務量を想定しているため、実際の評価の 実施にあたって、付加(または縮減)される工程や業務量が生じます。また、各評価機関における料金の算定は、事業 所までの移動時間や評価機関全体の運営にかかる経費などが別途加算されることになります。

(4) 多機能型事業所版(就労移行支援、就労継続支援B型の2サービス実施事業所を想定)

■利用者60名、職員20名(うち非常勤2名)と想定

	評価プロセス		標準的な工数			
	事業者 評価機関	評価機関における業務内容	評価	者	集計作業等 補助者	
準備·契約	実施方針の検討 契 約	◆事前調整·確認				
	事前打合せの実施 日程調整、職員への説明、利用者・家族への 周知等	◆ 契約内容の確認、評価内容・手順・スケ ジュールの確認等	2h×3名	6h		
評価の実施	利用者調査・自己評価の準備	◆調査票、依頼文等の準備、事業者への 送付			4h×1名	4h
	自己評価、職	◆ヒアリング調査(利用者1名あたり35分で18 名に対して3名の評価者で実施) アンケート調査(利用者38名に配付、回収率 80%を想定)	35分×18名	10.5h	12分× <mark>30件</mark>	6h
	職 員 調 者 利用者調査の素集計	◆利用者調査の数量的な集計と資料作成			8h×1名	8h
	の 実 利用者調査の分析・ まとめ	◆利用者調査の分析と仮のまとめ、事業 者への送付	4h×1名	4h		
	自己評価、職員調査の集計	◆自己評価、職員調査の集計 (回収率100%を想定)、事業者への送付			12分× <mark>20件</mark>	4h
	調査結果、自己評価等	◆利用者調査及び職員調査の結果、自己 評価等の読込み	4h×3名	12h		
	訪問調査事前打合せ	◆訪問調査に向けて評価者間の事前打合 せ	3h×3名	9h		
	訪問調査の実施	◆訪問調査(現地視察を含む)の実施	8h×2名	16h		
まとめ・公表	訪問調査の振り返り	◆訪問調査の終了後(できれば当日)の確認	2h×2名	4h		
	評価者による個別作業	◆利用者調査のまとめ、評点、コメント案 の作成	6h×2名	12h		
	評価者による合議	◆評価者の合議による評価結果のまとめ (報告書の作成)	4h×3名	12h		
	合議に基づく報告書の修正	◆合議の内容をふまえて報告書(案)を修正・完成	2h×2名	4h		
	▼ フィードバックの準備	◆フィードバックにむけて資料の整理・準 備			2h×1名	2h
	フィードバックの実施	◆事業所での報告書(案)の説明	2h×2名	4h		
	利用者や職員、 現例を表するのが生	◆報告書の最終確認、推進機構への報告	4h×1名	4h		
	関係者への報告 公表へ	※ 全体を通しての調整業務等	3h×1名	3h		246